

★今週の聖句

「自分自身の内に塩を持ちなさい。」

マルコによる福音書 9:50

★ ねらい

- ・ イエス様が教えておられる「互いに平和に過ごす」には、自分の中に塩を持つことだと言われる。この塩とは一体何か。火によって塩味をつけられるとは、小さい一人を躓かせることを激しく怒る神様の怒りを意味している。自分たちの罪を自己吟味する時、互いに重荷を負うことができる。

★ 説教作成のヒント

- ・ 自分はどうかかと考え、自分の罪もイエス様の十字架によって許されている。ここから出発して考えるとよい。

★ 豆知識

- ・ 石臼は、「ろばの臼」で、2枚の意思の内、ロバが回転させる上の部分。かなりの大きさがある。
- ・ 「地獄の消えない火」はゲヘナと呼ばれ、エルサレムの南にある地名。最後の審判の後で始まる火炎地獄の場所になると言われている。

★ 説教 「塩で平和になるよ」

こんな話があります。ある村に年をとった先生がおられました。村人に愛されていたこの先生のもとに、村一番の悪戯っ子がつれてこられました。その子は大人の手には負えない。喧嘩、盗み、暴力と村の人々は手をやかされていたのでした。村人はみんなで相談しました。「あの偉い先生に説教していただき、諭していただこう」と。

さて、やっとの思いで悪戯っ子を捕まえ、先生のもとに連れてこられました。先生と面と向かって座った子は、先生をにらみつけ暴言をはいていました。しかし、その先生は何も言われませんでした。一時間ばかりたったころ、先生はポロポロと涙を流されました。

悪戯っ子は「このクソじじい、なんで泣いてやがる」と捨てぜりふを残して外へ飛び出していきました。ところがそれからというもの、彼はおとなしい、優しい少年に変わったのです。

後日、先生に村人が聞きました。「どうして何も言われず、ただ涙を流されたのですか」。すると、先生は答えました。「始めは私も説教するつもりだった。しかし、声を出そうとしたとき、『おまえはどうかのだ』『おまえの生き方はどうかのだ』という声が出た。自分の人生を振り返ったとき、前にいる悪戯っ子と自分が重なったのだ。そして私も同じだと思うと、いとしくて涙が自然と流れてきたのだ。だから説教することができなかった」と。

みなさん、自分自身の内に塩を持つってどういうことでしょうか。イエス様の十字架を自分も背負うということです。ちょっと難しいですね。私たちもイエス様に十字架で、自分たちの悪い心を赦してもらっていると信じることです。みんなが自分の悪いところを知って、同じ十字架で許していただいていると信じること。それが互いに平和に過ごすコツです。自分は自分とは前にせず、自分の重荷(十字架)をみること、悔い改めることがイエス様へと導くのです。イエス様の十字架を知っていれば「つまずかせる」ものにならず、「罪を犯させる」ものにならず、平和のうちに過ごすことができる。イ

イエス様の十字架を中心におき、互いに罪を負いあうことを「塩を持つこと」といいます。塩はよいもの。私たちの中にある重荷はよいものです。それによって多くの人々をつまずかせることなく、平和を保つことができます。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

36番

改訂版120番

やってみよう

距離を決め、1グループ・2～3人くらいになり、ケンケンで競争する。

ゴールした人は下の聖句を暗唱する。

「わたしたちに逆らわない者は、わたしたちの味方なのである。」

はなそう

あなたの味方や応援団、お友達はだれでしょう。名前をあげてみましょう。

その人たちの中でイエス様のことや教会のことをお話しできる人はだれでしょう。

★今週の聖句

「神の国はこのような者たちのものである。」

マルコによる福音書 10:14

★ ねらい

- ・ 多くの人たちが子供たちをイエス様のところに連れてくる。祝福を受けるためであった。弟子たちはそれを妨げる。しかし、イエス様にとってむしろ祝福を受けるために来るものをひつようとされている。子供のように祝福を受けることの大切さが語られる。

★ 説教作成のヒント

- ・ イエス様は自分の所に来るものを拒まれない。むしろそれを妨げる者に憤りをあらわされている。むしろそのような者こそ来るのがふさわしいと言われた。

★ 豆知識

- ・ 「憤る」とは、「非常に」と「悲しんでいる」「怒りが大きい」「我慢できない」という言葉が合わさってできている言葉。

★ 説教 「そのままでいいよ」

神さまの国では、一年で一度だけ「天使フェスティバル」が行われます。今年もその日がやってきました。天使のポムはうれしくてしかたありません。だって、天使フェスティバルにはイエス様が来てくださるからです。

ポムは朝からドキドキでした。どんな服を着て行こうか。どんな靴がいいかな。でもポムはまだ子どもの天使だったので、なにも持っていませんでした。ほかの天使はみんな、いろんな洋服を着て鏡の前に立ったり、お化粧をしたりと大忙しです。ポムもはやく大人になってオシャレをしてフェスティバルにいきたいなと夢に見る思いでした。

「ポム！はやくしなさい！時間ですよ」。お母さんの声がしました。「ちょっと待って！まだ何も決まってるよ。いつもの裸じゃいやだよ」。ポムはイエス様に喜んでいただくために、綺麗な洋服が着たかったのです。でも、何もありません。いつもどおりの格好でいくことになりました。イエス様にお会いできる日なのにとっても残念でした。

フェスティバルはすでに始まっていました。みんな綺麗な衣装を着ています。イエス様のまわりには大勢の天使でいっぱいです。着飾っている天使たちの多いこと。ポムはうっとりしました。イエス様はニコニコしながら天使たちと話しておられます。「いいなあ！僕もイエス様のところへ行きたいなあ」。ポムは勇気をだしてイエス様のところへ行こうとしました。その時です。突然、ポムは大人の天使に止められました。「だめだめ。子どもはイエス様のところへ行ってはいかん。イエス様のお話の邪魔だ」と怒られました。ポムは悲しくなりました。きっとポムは子どもだから、綺麗な洋服をきていないからダメなんだと思いました。

すると優しい声が聞こえてきました。「ポムをこっちに連れてきなさい。止めてはいけないよ」。その声はイエス様でした。ポムは大急ぎでイエス様のところに行きました。イエス様はポムを抱きしめ

て祝福してくださいました。ポムはイエス様の耳元にそっと顔をよせて聞いてみました。「イエス様、僕は子どもだから綺麗な服も着てないし、素敵な靴もはいていないよ。それに元気がありすぎて大人の邪魔になることもあるよ。イエス様も困ってないの?」。イエス様はみんなに聞こえるようにいわれました。「わたしは、このままのポムが大好きだよ。子どもはそのままがいいんだよ。ポムがわたしのところに来たいと思う心、それだけで十分だよ」。そのままがいい。ポムはそのことがとっても嬉しくて、イエス様がもっと大好きになりました。

「このままでいい」といわれたイエス様の言葉を大切にしたいと、ポムは思いました。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

105番

改訂版5番

やってみよう

イエス様と仲良くしている絵を描きましょう。

たとえば、おはなしをしている。

手をつないでいる。

あそんでいる、など。

はなそう

「子どものように神の国を受け入れる人」とありますが、どんな人でしょう。

みんなで考えてみましょう。

★今週の聖句

「そうすれば、天に富を積みことになる。」

マルコによる福音書 10:21

★ねらい

- ・律法を守ることと、律法を生きることはちがう。イエス様は守って何もしないことではなく、律法を生きて隣人を愛する生き方をのぞんでおられる。

★説教作成のヒント

- ・子供の時から律法を守ってきた金持ちの男が、なぜ財産をすべててばなすことができなかつたのか。足りないものは何かをかんがえてみよう。

★豆知識

- ・イエス様が言われた「殺すな、姦淫するな、盗むな・・・」はモーセの十戒めである。
- ・イエス様は「慈しんで」言われた。原文では「彼を愛して」となっている。

★説教

小鳥のピーちゃんは今日も絶好調。青い空をととても楽しそうに、ビューンと飛んでいました。今日も大きな空を飛びに飛んでヨルダン川のほとりにやってきました。すると、イエス様が旅に出ようとされているところでした。ピーちゃんはイエス様をみつけると大喜びで「こんにちは」とあいさつをしました。イエス様も微笑んでくださいました。ピーちゃんは「イエス様、なんだかお金持ちの人が泣きながら走っていったよ」と言いました。イエス様は「そうだね、神様の教えをきちんと守っても、もっと大切なことがあるんだよ」と言われました。ピーちゃんは「どんなこと？」と聞きました。するとイエス様は教えてくださったのです。イエス様は「あのお金持ちさんは、たくさん物を持っていたんだよ。でも心配だったんだよ」と言われました。ピーちゃんは驚きました。「イエス様、たくさんお金も物も持っているのに何が心配なの?」。イエス様が言われました。「たくさんのお金を持っていても、永遠の命を得たり、神様の国に入れるとは限らない。心配だったみたいだよ。それで聞きに来たのさ。『なにをすれば永遠の命がいただけますか』ってね。だから教えてあげたよ。モーセの律法を知っているでしょう。聖書に書かれてあることを守りなさい。それでいいんだよ。ピーちゃんにもわかるよね」。ピーちゃんは「知ってるよ」と答えました。イエス様は「でもね、それは全部守ってきたっていうんだよそれも子供時からずっとね」。ピーちゃんは言いました。「それじゃ、神様の国へ行けるね。でもなんで泣きながらイエス様の所から帰って行ったの?」。イエス様はニコニコと笑いながら言われました。

「神様の教えは守るだけじゃだめなんだよ。神様の教えの通り生きていくことが大切なこと」。ピーちゃんは少し難しいと思いました。イエス様は「お金持ちさんに教えてあげたよ。持っているものを全部売って、困っている人々のために使いなさい。それが神様の教えをいきることですよ。そうすれば、神様は喜んでくださり神様の国へ迎えてくださいますよ。そして私の弟子になりなさい」

て。でも持っているものがたくさんだったからできなかったようだよ。残念だけど、泣きながらできませんって帰っていったんだよ」と。

神様の戒を守るということと、戒を生きるということは違います。守るというのはあくまでも個人的ことです。ところが十戒を生きるということは、みんなと共に生きるということです。お金持ちの男に欠けていたものは、「自分を愛するように隣人を愛する」という生き方でした。神様の言葉を守るだけでなく、生きていく方法を探してみましょう。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

63番

改訂版127番

やってみよう

スズランテープなどで子どもが潜り抜けることができるか、できないか、の適当な大きさの○を作る。

そのひもをくぐりぬける。ことができるかな？

はなそう

イエス様を信じている人なら誰でも天国へ行くことができます。

でも、イエス様に喜んでいただくために何をしたらよいか、

自分には何ができるか考えて、発表しあいましょう。

★今週の聖句

「行きなさい。あなたの信仰があなたを救った。」

マルコによる福音書 10:52

★ ねらい

- ・ 道端に追いやられていたバルティマイが、イエス様に見出され道の真ん中に立たせていただいた。イエス様は、バルティマイの信仰によると言われた。

★ 説教作成のヒント

- ・ 「道」と「道端」の違いを考えてみましょう。

★ 豆知識

- ・ エリコの街は、世界最古の城壁都市だった。出エジプトの民がヨシュアに導かれてはじめて攻略した街。
- ・ 『ダビデの子』とは、イエス様をキリストと告白することと同じ。

★ 説教 「道にもどる」

本日のテーマは「道」についてです。この聖書の箇所にはいくつかの道があります。イエス様の進まれる道、弟子たちの道、そして群衆の道です。ところがここにもう一つ重要な道があります。わかりますか？それは「道でない道」です。

本日の出来事は、この「道でない道」でおこっています。みなさんの聖書ではその道のことを「道端」と書いてあります。バルティマイさんという目の不自由な人は「道でない道」・道端に座っていました。自分から座っていたというより、人々によってそこに座わるようにされていたのかもしれない。

その時、バルティマイさんは、イエス様がそこにいることを告げられます。バルティマイさんはそれを聞くと猛然と叫びだしました。「ダビデの子イエスよ、わたしを憐れんでください」って。普通の叫びではなかったようです。猛然と何回も叫び続けたとありますよ。しかもそれは群衆にとってはなはだ迷惑な叫びだったようです。しかし、あくまでも「道でない道」でバルティマイさんは叫んでいました。

そのようなバルティマイさんに対して人々は黙らせようとしたのです。お前はここに来てはいけない。お前はこの道に出て来てはいけないというのです。ところがイエス様はバルティマイさんと呼びなさいと言われました。

人々は「道でない道」道端に座わらされているバルティマイさんを見ようとしない。たとえそこでどんなに苦しんでいようとも。道端にしかおれなかったバルティマイさんの苦しみに対して、目をつぶっていたのです。でもイエス様はみんなとは違います。みんなは目をつぶったのに、イエス様は見つけ出してくださったのです。

イエス様はバルティマイさんと呼ぶことで、バルティマイさんを道端（道でない道）から本来の

道に立たせてくださったのでした。バルティマイさんの喜びは異常なほどでした。服を脱ぎ捨てたとあります。古い自分、古い生き方へのさよならだったのでしょうか。やっと人間本来の道に立つことができると思ったのでしょうか。イエス様はそのようなバルティマイさんに「何をしてほしいのか」と聞かれました。もちろん「目がみえるようになりたい」でした。私たちにとってその答えはあたりまえのことでしょう。しかし、バルティマイさんにとっては「道」が与えられたのです。イエス様がバルティマイの信仰を認められました。

★分級への展開

さんびしよう

*讃美歌は”こどもさんびか”（日キ版）より

57番

改訂版27番

やってみよう

距離を決めて、目をつぶって歩く。

そのあと目を開けて、同じ距離に戻ってくる。

はなそう

あなたが今、イエス様にお会いしたら何を願いますでしょうか。

みんなと、お互いの希望とその理由などを話し合ひましょう。